



て と て と て



～親と子どもと教師とがしっかりと手をつないで共に成長していきましょう～



新たな出会いを大切に!



「学校における新たな出会い」は、子どもたちにとっても、教師にとっても、偶然の重なりによるものです。しかし、出会いは偶然であっても、1年後には、様々な教育活動を通して、子ども同士が、子どもと教師とがすばらしい人間関係を築き、「この学級の仲間と一緒に学び、遊び、取り組めてよかった。この先生と出会えてよかった」と共感できるまで高めたいと願っています。そのためにも、日本を遠く離れたデュッセルドルフ日本人学校での皆様方との新しい出会いを、是非とも大切にしていきたいと思えます。私、福森校長先生の後任として宮崎県から赴任しました校長の黒木広充(くろきひろみつ)と申します。本校の学校教育目標の具現化に向けて、職員一同一丸となって努力邁進していきますので、どうか保護者の皆様方のお力添えと、子ども達のために温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

デュッセルドルフ日本人学校教育目標

国際社会において主体的に行動するために必要な能力・態度の育成



平成23年度への船出に当たって



始業式や入学式、各学期の終業式などは、学校生活の大きな節目に当たる日でもあります。青竹がしなやかな強さで風雨をしのぐことができるのは、茎が折れないように「節」がしっかり守っているからだと言われます。

学校生活の「節目」に合わせて、3年生になったのだから、2年生になったのだから、あるいは新入生になったのだから、「こんなふうに変身しよう」と、各自が強い希望や意志で臨むと、なんと不思議なことに「へんしん」できるのです。それが、学校生活の「節目」のよいところであり、大切なところです。

新年度のスタートを切った今こそが、子どもが大きく成長(「変身」)するチャンスです。一人一人の「夢や希望」という強いエネルギーで、児童生徒全員が大いに素晴らしい「変身」が遂げられることを願っています。

風雨にさらされてもびくともしない青竹のように、この学校生活の「節目」を自分でしっかり固めて、今日から新しい気持ちで、茎を成長させるための努力を期待します。

夢なくして	理想なし
理想なくして	目標なし
目標なくして	実行なし
実行なくして	成果なし
成果なくして	喜びなし

元マラソンランナー谷口浩美氏の言葉です。一つでも二つでも夢をもって、その夢に向かってひたすら挑戦していくことの大切さを訴えています。

以下はある本で読んだ一節です。ご家庭で、子どもさんが「変身」するとき話題にさせていただきますようお願いいたします。



- ◇ 心が変われば、態度が変わる。
- ◇ 態度が変われば、行動が変わる。
- ◇ 行動が変われば、習慣が変わる。
- ◇ 習慣が変われば、人格が変わる。
- ◇ 人格が変われば、運命が変わる。
- ◇ 運命が変われば、人生が変わる。

